

For the Society

私たちは社会と共生する
「良き企業市民」として
さまざまな企業活動を通じ
継続的に社会に貢献していきたいと
考えています。

INDEX

- 27 お取引先の皆様とともに
- 28 地域社会の皆様とともに
- 30 社員とともに
- 35 株主・投資家の皆様とともに

お取引先の皆様とともに

「お客様第一主義」を合言葉に、お取引先の皆様の幅広いニーズにきめ細かく対応できるよう努めてまいります。

お客様サービス向上への取り組み

●お客様満足度調査

定期的に「お客様満足度調査」を実施しています。当社の営業活動全般の満足度を調査し、回答結果をもとに問題点の改善を行っています。今後も定期的に調査を行い、お客様の満足度向上に取り組んでいきます。

●お取引先様への情報提供

主に歯科関連のお取引先向けに「アサヒ掲示板」を発行しています。アサヒ掲示板には貴金属の需給動向や医療についてのコラムなどを掲載し、情報提供を行っています。



アサヒ掲示板

●公正取引に関する取り組み

グループ倫理綱領を定め、役員および社員に対して取賄や反社会的勢力との関係を持つことを禁止しています。

アサヒホールディングスグループ倫理綱領 (抜粋)

■私的利益誘導の排除と企業利益の保全

- ・購買等取引において、価格・品質・納期面で最適な取引先の選定を妨げるような影響力を行使してはならず、また取引先の代理人となることはできない

■節度ある会食・接待および贈物

- ・取引先や顧客に金銭を要求することも、受け取ることもしてはならない
- ・取引先や顧客に賄賂となるような金銭や贈物をしてはならない
- ・食事や接待を受ける場合および行う場合はいずれも、上位者の事前承認があることが原則であり、またその場所や内容は高価なものにならないようにする

■安全・環境・地域社会の重視

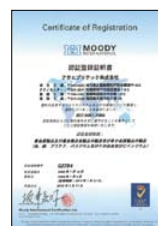
- ・反社会的な勢力や活動とは一切の関係ももたず、いかなる取引も行わない

品質保証体制

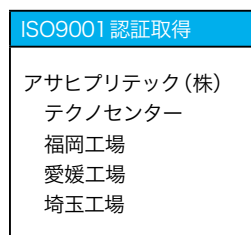
アサヒプリテックでは品質保証部門が中心となり、営業部門、技術開発部門、製品製造部門が合同で「品質保証会議」を開催しています。この会議を通じてお客様の声や市場の動向などを共有化し、お客様満足度の向上に取り組んでいます。

また、お客様により安心・満足していただける製品を提供するためにISO9001を取得し、品質マネジメントシステムの継続的改善・品質の維持向上に努めています。2010年3月には、ISO9001取得4拠点の認証を統合し、全社一体となった品質管理システムの運用を開始しました。

さらに当社はグリーン調達や欧州の化学物質規制法であるRoHS指令にも配慮し、環境負荷低減に努めています。



ISO9001 認証書



ISO9001 認証取得

アサヒプリテック(株)
テクノセンター
福岡工場
愛媛工場
埼玉工場

情報漏洩に対する危機管理体制

営業員が使用しているパソコンにはロック機能などのセキュリティ対策を施しており、万一パソコンの紛失や盗難にあった場合でも、容易に操作ができないようにしています。また、埼玉・尼崎に設置しているリサイクルセンターでは2011年3月にISO27001を取得しました。パソコン廃棄にともなう情報漏洩対策としてデータ消去サービスを行い、事業活動を通じて情報保護に貢献しています。



専用ソフトによるデータ消去

地域社会の皆様とともに

全国で事業活動を展開している当社にとって、地域の皆様からのご理解とご支援は不可欠です。企業市民として社会と共生する企業であり続けるために、さまざまなかたちで地域に根ざした活動を行ってまいります。

活動事例紹介

●環境美化への取り組み

四季を通じて多くの人々が訪れる日本有数の観光都市、神戸。観光客に美しいまちを見てもらおうと、市民が各所で自発的に環境美化活動を行っています。神戸本社に勤務する当社社員も10月3日の「KOBE観光の日」にさきがけて開催された「第103回しみん・くりーん・うおーく」に参加し清掃活動を行いました。



●工場見学の実施

四国事業所では、主に貴金属精製と自動車触媒の解体処理を行っていますが、社外の方からのご要望を受けて事業所内をご案内し、設備や処理工程をご説明しています。今後もコミュニケーションによる信頼性の向上に努めます。



●森林保全ボランティア活動に参加

森林保全活動に関心を持つ社員が、国有林での間伐作業に挑戦しました。インストラクターの助言を受けて間伐する木を選び、鋸を入れ、ロープで引いて倒しました。間伐を行うことにより、林内に光が入り下層に植生が生じます。これにより、森林の土壌が守られるとともに、雨水が土壌へ浸透する量が多くなるため、水源かん養機能が向上します。初めての経験でしたが、森林管理の難しさや意義深さを実感しました。



事業活動を通じた社会貢献

財団法人8020推進財団の8020運動（80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという運動）の趣旨に賛同し、活動支援を行っています。

また当社は、日本口唇口蓋裂協会等のボランティア団体が実施している医療援助活動の趣旨に賛同された歯科医院から撤去冠を回収し、金・パラジウムなどの貴金属にリサイクルしています。それらの貴金属の売却を通じて得られた純益が各団体の活動資金として役立てられています。

<当社が活動協力している主な団体>

●財団法人8020推進財団



●特定非営利活動法人

日本口唇口蓋裂協会

(口唇口蓋裂など、口に障害を持つ子供たちへの医療援助)



●特定非営利活動法人

メドゥサン・デュ・モンド ジャパン

(戦争・自然災害などで苦しむ人々への医療援助)



世界の医療団
メドゥサン・デュ・モンド



世界の医療団（メドゥサン・デュ・モンド）による医療支援

TOPICS 1

「東日本大震災」被災地支援について

当社グループは2011年3月11日に発生した「東日本大震災」被災者の救援と被災地の復興支援のため、日本赤十字および被災地の関係団体に義援金の寄付を行いました。また、被災地域において内定取消や就職困難となった新卒者などを対象に正社員採用特別枠を設けました。

TOPICS 2

「ワールドデンタルショー」に出展

10月にパシフィコ横浜で開催された「ワールドデンタルショー 2010」に出展しました。ブースでは、歯科業界の方々に当社の歯科材料分野におけるリサイクル技術や製品に関する情報発信を行いました。これら専門展示会への出展を通じて、当社事業活動の紹介とともに資源リサイクルの重要性を広めています。



社員とともに

「人間尊重」という経営理念のもと、個性を尊重し仕事を通じて自己を磨き、生き甲斐と連帯感のある明るい職場を形成することをめざしています。
一人ひとりが持つ強みを最大限に引き出し仕事に活かせるよう、また社員が自分の仕事に「やりがい」「働きがい」を持って取り組めるように、さまざまなサポートを行っています。

安心して働ける環境づくり

ワークライフ バランス

やり甲斐のある仕事と充実した私生活のバランスをとりながら、持っている能力を最大限に発揮して人生を送ることは、社員だけでなく会社にとっても大事なことです。私生活において重要なものは、家庭や健康、スポーツや趣味など個人の価値観によってさまざまです。当社は、社員が私生活と仕事のバランスをとれるようにサポートしています。

●リフレッシュホリデー

入社2年目から毎年、3～5日の連続休暇を取得する制度で、土日を含めると9日間連続の休暇が取得可能となり、家族との旅行や趣味に利用しています。



●勤務時間管理

適正な業務量と適正な勤務時間をめざし、個別面談を行い、社員一人ひとりのワークライフバランスを考慮した勤務実態管理体制の構築と、個人別に勤務環境の改善へ向けた指導を実施しています。

●メンタルヘルスケア

現代社会は、職場や生活に関する不安や悩みによるストレスが蔓延しているといわれています。

当社では、社員の生産性や活力の向上には心の健康が不可欠であると考え、メンタルヘルス専門の産業医と連携し、個別相談会や予防セミナーを実施しています。また、医学的見地から健康増進に関するセミナーも随時実施し、総合的な健康管理に努めています。



個別相談会



予防セミナー

●健康管理体制への取り組み

健康リスクが高まる45歳以上の社員を対象に、「人間ドック健診」を実施しています。また、対象者からの要望により、脳ドック、PET検診への受診もサポートしています。全社員を対象とした定期健康診断（生活習慣病予防健診、特定業務従事者健診、一般健診など）も含め、受診率は100%で、会社と社員双方が健康増進、り病の予防と早期発見に取り組んでいます。

●育児介護休業制度

出産や育児、家族の介護などと、仕事との両立を支援しています。育児介護休業制度にある短時間勤務等により、社員のライフスタイルに合わせた働き方をサポートしています。

●自己申告制度

全社員が年に1回、仕事上の能力発揮度・達成度、職場の雰囲気、キャリアプラン等を申告書に記入し人事部に直接提出します。人事部は申告内容をもとに担当役員や上司とともに、人員配置、職場雰囲気の改善や各自のやりがいを促しています。

●社員意識調査

3年に一度、全社員を対象に「意識調査」を実施しています。この調査は社員の会社に対する満足度を客観的に把握するために行い、調査結果は組織と人材のさらなる活性化に役立てています。

●海外で活躍できる環境づくり

海外赴任者・出張者向けの語学研修を実施するなど、社員が海外で活躍できる環境づくりを行っています。



中国語講座 (テクノセンター)

●障がい者雇用

障がいを持つ社員が健常者と同じ職場で各種業務に従事しています。



尼崎リサイクルセンター

●社内クラブ活動支援

当社グループはアメリカンフットボールクラブチーム「ゴールデンファイターズ」を支援しています。今後とも皆様のあたたかいご声援をよろしくお願いたします。



野球部やフットサルなどのクラブ活動を通して、職場の同僚や取引先とのコミュニケーションを図っています。



人材育成

人材育成に関する考え方

社内のいかなる階層・職種にあっても専門性を重んじたプロフェッショナル人材であることをめざし、独自の資格制度や社内教育カリキュラム、またASG活動とよばれる自発的な小集団活動などを実施しています。さらに、社員一人ひとりの業績貢献度を公平、公正に評価する成果主義人事制度を核に、7つの行動指針（収益マインド・CSマインド・情報マインド・協業マインド・CSRマインド・成長マインド・リスクマインド）を掲げ、チャレンジ精神を持った人材育成に努めています。

●社員研修制度

入社時期の習熟度に合わせた研修（入社時研修・ステップアップ研修・パワーアップ研修）と階層別の選抜型人材育成研修（ジュニアリーダー研修・マネージャー研修・リーダー研修）を実施しています。そのほか、部門別研修や技能教育を通じて、個人がプロフェッショナル人材として必要な実務知識を習得し、専門能力を培っていくことができる研修プログラムを設けています。

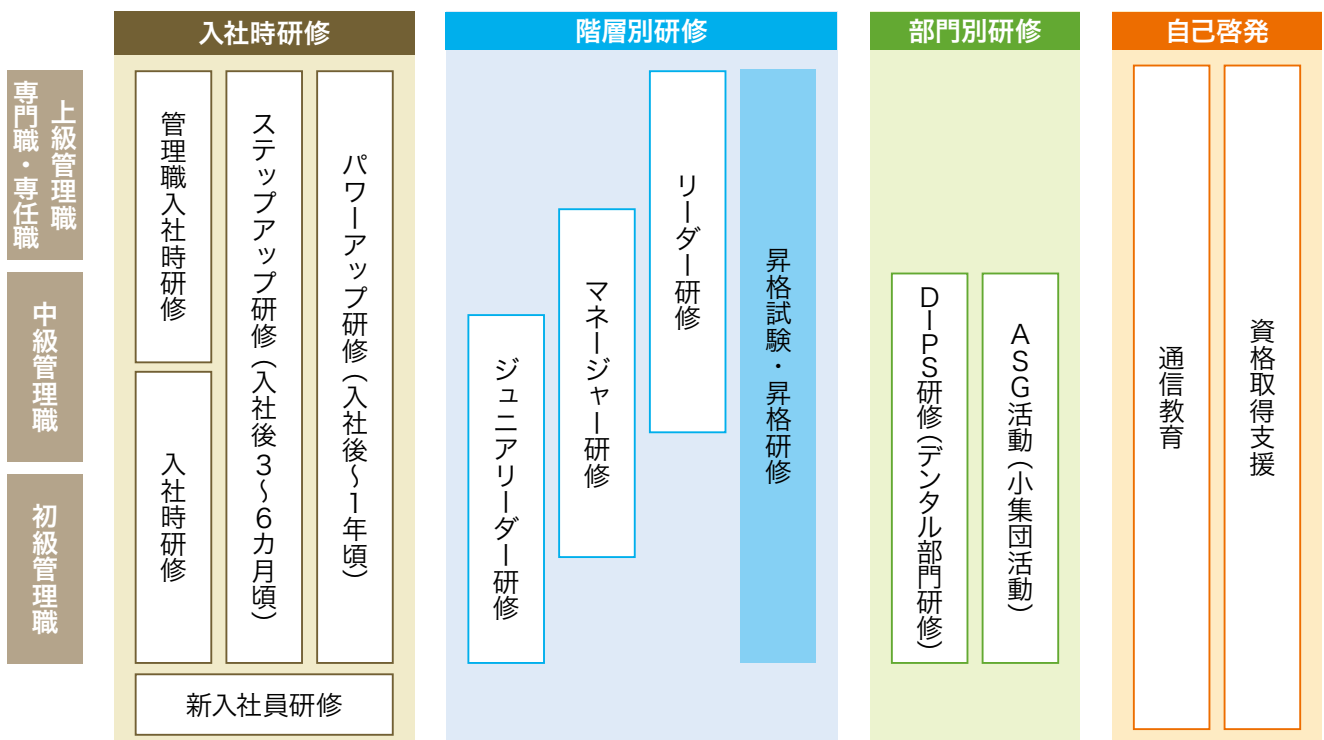
能教育を通じて、個人がプロフェッショナル人材として必要な実務知識を習得し、専門能力を培っていくことができる研修プログラムを設けています。



ステップアップ研修



パワーアップ研修

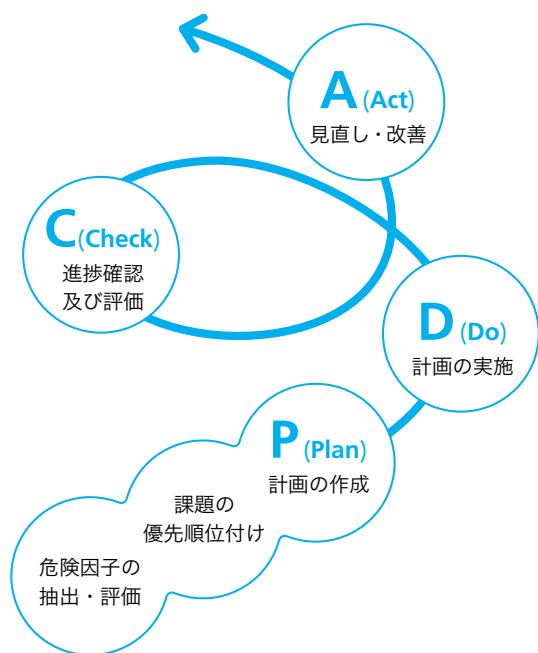


安全衛生活動の推進

OSHMS への取り組み

災害を減少させるには、職場に潜在する無数のリスクに着目し、事前にリスクを減少させ、災害の芽を摘み取ることが重要です。当社は、労働安全衛生マネジメントシステム（以下、OSHMS*）の考え方を取り入れ、リスク低減による職場の安全衛生水準の向上をめざしています。

当社のOSHMSでは、危険・有害要因の評価をもとに『計画を立て』（Plan）⇒『計画を実施し』（Do）⇒『実施結果を評価し』（Check）⇒『評価をふまえて見直し、改善する』（Act）という一連のサイクル（PDCAサイクル）を繰り返し実施することによって、職場のリスクを低減することを基本としています。



* : Occupational Safety and Health Management System

環境安全教育

環境安全教育は、社員研修制度の「人材育成プログラム」のなかで実施しており、安全に仕事を行うための心構えや、危険物の基礎知識などを教育しています。また、このなかでは「就業中に火災が発生した場合にどう対応するか」などの具体的な緊急事態を想定して、グループ討議を行うロールプレイ形式の教育も取り入れており、各人が実際の現場で取るべき行動を正しく認識できるよう工夫しています。



環境安全教育

現場サポートにおいては、安全衛生に関する専門スタッフにより、営業・工場現場でのOJTを実施しています。作業員・担当者への安全指導により、職場環境安全衛生の向上を図っています。



工場研修

緊急事態の対応

工場での安全対策として、事業活動上のリスクを洗い出し、拠点ごとに「安全推進責任者」を決定し、予防策を講じるとともに、万が一問題が起こった場合には、迅速に対応する体制を整えています。

また、緊急事態発生時の社内外への対応として「緊急事態対応管理マニュアル」を完備し、かつ、事故・災害発生初期の対応要領を記載した「事故・災害対応の手引き」を配布し、全社員に常時携帯を義務付けています。

2011年3月に発生した「東日本大震災」に際しては、アサヒホールディングスの代表取締役社長を本部長とする災害対策本部を当日に立ち上げ、迅速に社員およびその家族の安全を確認し設備の復旧対応と被災地支援を行いました。

社員総会の開催

社員総会を毎年開催しています。社員総会では社長メッセージ、各本部長の前期業績と当期重点課題の発表や、選抜チームによるASG発表会・経営陣と社員のディスカッションなどを行っています。



社員総会

安全活動に対する表彰制度

毎年、安全管理に貢献した事業拠点や社員を対象に社員総会の場で表彰を行い、安全意識の高揚に努めています。



安全表彰

小集団活動による 活力ある職場形成

同一職場内の社員による自発的・主体的な参加のもと、ASG活動 (Asahi Small Group 活動) を行っています。活動を通して創意工夫を行い、職場内の問題解決を図っています。優れた取り組みを行ったグループには社員総会で表彰を行っています。

INTERVIEW ASG活動に参加して

「家族のために出来ることは何か。家族と過ごす時間を大切にするためにはどうすれば良いか。」という社員の家族への思いと業務に対する意欲、営業成績の向上、安全管理などを結びつけた家族をメインテーマにした新しい視点からの業務改善活動が評価され、広島営業所は2010年

度のASG活動最優秀賞を受賞しました。特に家族を招待した営業所見学会は、子供達にとっても親の仕事を理解できる良い機会となりました。今後も私達の後ろにはかけがえのない家族が存在することを忘れずに、労働災害ゼロ、車両無事故・無違反の継続と業績目標達成をめざします。



ASG活動 広島営業所
グループリーダー 井上 健史

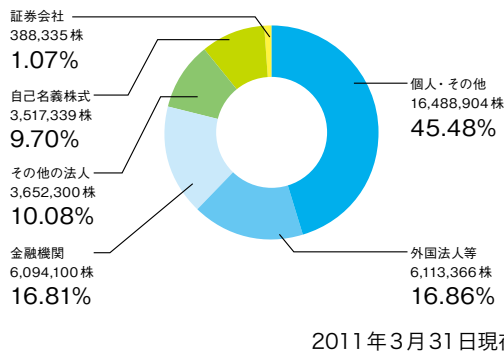
株主・投資家の皆様とともに

成長戦略を積極的に推進し、事業の発展を通じた企業価値の向上と安定的な株主還元而努力しています。

株主構成

株主総数は2011年3月末で10,563人です。所有者別株式分布状況では、個人・その他45.48%、外国法人等16.86%、金融機関16.81%、その他の法人10.08%、自己名義株式9.70%、証券会社1.07%となっています。

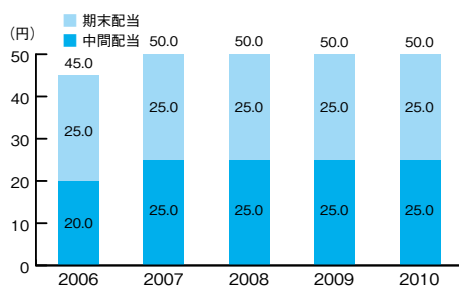
●所有者別株式分布状況



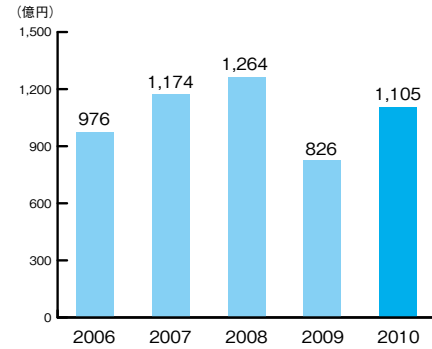
株主還元の基本方針

利益分配に関しては、「安定した収益力の維持とさらなる成長によって企業価値の向上を図り、配当などを通して株主の皆様の期待に応えること」を基本方針としています。一方で「成長分野への投資や新規事業開発などに備えるため、内部留保の充実を図ることも重要である」と考え、株主資本配当率(ROE)と配当性向を乗じた純資産配当率(DOE)を株主還元の指標としています。以上の基本方針のもと、株主配当につきましては収益構造の強化および成長に向けた戦略的な事業投資を行いながら、引き続き株主資本の効率的な運用に努めます。

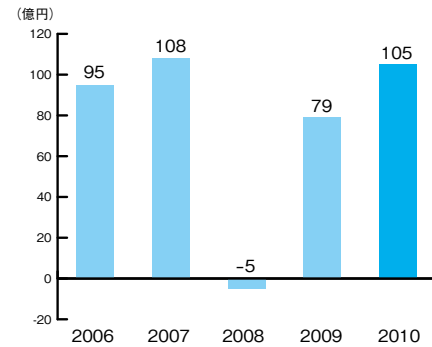
●1株あたり配当金



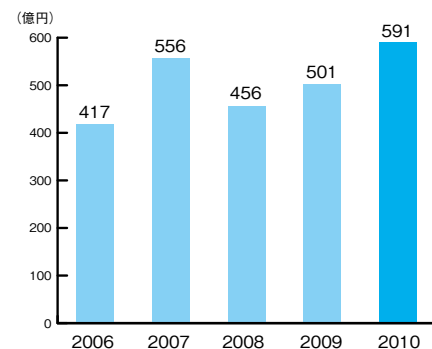
●売上高



●経常利益



●総資産



●社員数

